

平成 29 年度外部評価の実施方法

1 行政評価の目的

行政評価は、効果的・効率的な行政運営を進めていくために、前年度の事業成果を評価し、評価結果を基に事業内容の改善を検討し、次年度の計画・予算に反映させ、市民サービスの向上を目指すものです。

行政評価の目的としては、主に以下の3点が挙げられます。

事業の効率化	実施した事業の成果を明らかにし、目標達成度・費用対効果を客観的に評価することで事業の改善点・改善方法を洗い出し、より効率的な事業の実現を目指す。
市民に対する説明責任とサービスの向上	事業の実施内容や成果・達成度などを分かりやすく公表することにより、市民に対する説明責任を果たすとともに、市民からの意見を改善策に反映させることで、サービスを向上させる。
職員の意識改革	職員の事業に対する目的意識、コスト意識を明確にし、事務事業の改善に向けた積極的な取組を促進する。

2 外部評価の概要

(1) 実施目的

担当課の自己評価及び財務部評価に加え、第三者による評価・検証の機会を確保することにより、評価の客観性の向上及び透明性の確保を図り、事業の在り方の検証を含めた行政運営の効率化、事業の見える化及び職員の意識改革を目的として、行政改革推進会による外部評価を実施します。

(2) 基本方針

ア 行政改革推進委員の皆様からは、市が実施した内部評価の結果について、外部の視点から評価・検証し、事務事業の改善、今後の方向性等に関する意見等をいただきます。

イ 対象事業は、基本的に各委員の希望をできるだけ反映し、集約・調整の上、4事業を選定します。

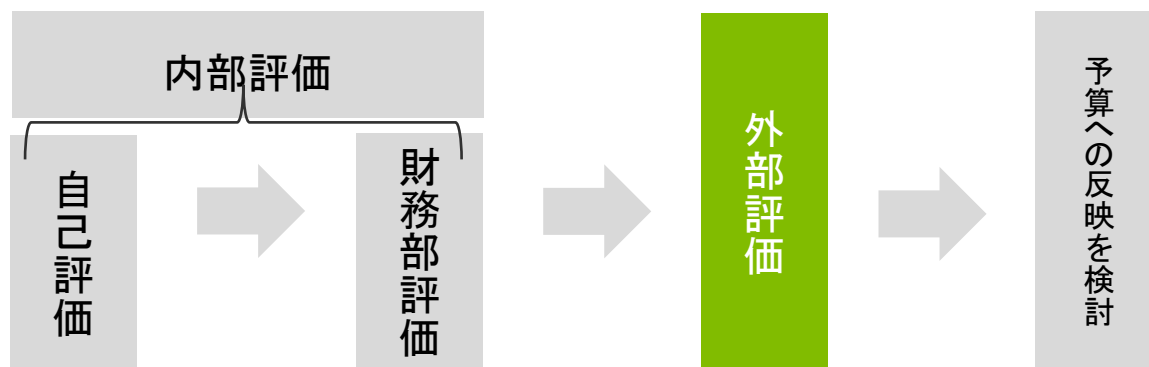
ウ 選定した4事業に対する外部評価会議は、審議の充実及び委員の負担を考慮して、9月21日及び22日の2日に分散して実施します。審議は、各日の評価を行う委員に審議を委ねるものとし、当該委員の出席をもって開催要件を満たすものとします。

エ 外部評価は、事業が実際に行われている現場を見るのではなく、担当課の自己評価及び財務部評価の確認並びに担当課への質問等により行います。

オ 評価結果については、様々な立場にある委員の多様な意見を反映するため、委員会の総意として集約せず、そのまま個別の意見として、担当課に伝達することとします。

カ 外部評価の結果を踏まえて、担当課は、当該事業に対する今後の方針を検討し、予算編成や各種計画等への反映を検討します。

行政評価における外部評価の位置付け



・平成28年度に執行した人件費や一般経費等を除いた事業について、担当課で自己評価を実施

・担当課が自己評価を行った事業について、財務部による評価を実施

・財務部が評価した事業から行政改革推進委員会が4事業を選定
・外部の視点から評価を実施

・担当課が新年度予算編成等への反映を検討

3 外部評価の対象事業の選定（平成29年8月29日）

(1) 進め方

- ア 外部評価の実施方法の概要について事務局から説明を行います。
- イ 内部評価シートの記載内容について、質疑応答を行います。
- ウ 外部評価の対象とすべき事業について、全委員から、5つの事業及び希望理由並びに希望日程を外部評価対象事業等希望調書に記載していただきます。
- エ 事務局にて結果を集計します。なお、集計中は、休憩とします。
- オ 委員間で意見交換の上、4事業を選定していただきます。

(2) 選定すべき事業

外部評価は、事業の改善が目的であるため、選定に際しては、改善の可能性に着眼することが望ましいと考えられます。

内部評価シートには、担当課の自己評価及び財務部評価の結果（現状維持、見直し、休止、廃止）が記載されていますが、その評価結果を鵜呑みにせず、外部からの視点で、改善が可能と思う事業を選んでいただきたいと思います。

選定の際の判断となる主なポイントは、以下のものが考えられます。

項目	ポイント
事務事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・目的が市民ニーズに合致しているか。 ・成果は上がっているか。
コスト	<ul style="list-style-type: none"> ・予算額は大きい（市の財政への影響が大きい）か。 ・一般財源は大きい（改善の余地が大きい）か。 ・費用対効果は高いか。
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・市以外の実施主体はないか。 ・課題・今後の方向性の問題意識と異なっていないか。

4 外部評価会議の実施（平成29年9月21日及び22日実施）

(1) 進め方

外部評価シートに基づき、担当課による説明、質疑応答・議論等を踏まえ、評価をします。

○ 1つの事業についての評価の流れ

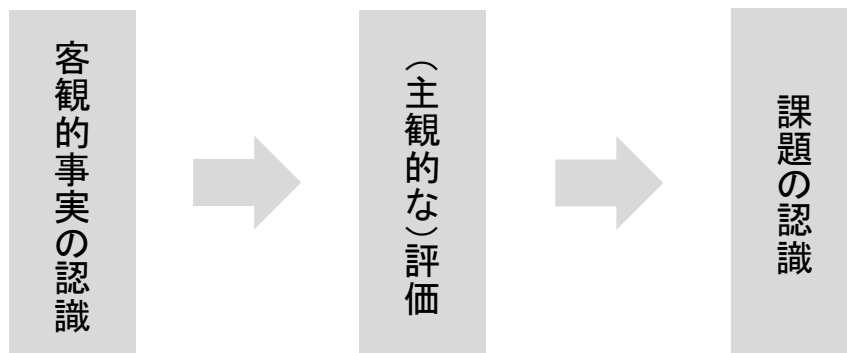
①担当課による事業の説明（10分）	担当課が内部評価シートに基づき、事業の概要、課題、実施状況、自らが行った自己評価の結果について説明します。								
②質疑応答・議論（20分）	委員が担当課に補足説明を求め、評価する上で必要と思われる事柄を質問します。必要により、財務部評価についても、事務局に質問します。また、これらを踏まえ、委員同士で議論します。								
③評価委員自己判断（10分）	各委員が、評価結果を外部評価シートに記入します。 評価は、A：現状維持、B：見直し、C：休止、D：廃止から1つ選択します。								
	<table border="1"> <tr> <td>A：現状維持</td> <td>事業の内容に問題はなく、維持していくもの</td> </tr> <tr> <td>B：見直し（拡充・縮小）</td> <td>事業内容（事業費・対象・範囲・手段等）を拡充又は縮小していくもの 例：市民ニーズの高まりにより拡充するもの。事業効果が薄く、効果に見合った事業規模に縮小するもの。民間委託や補助金化により業務を軽減できるもの。毎年度開催しているイベント・行事のうち隔年開催などにできるもの</td> </tr> <tr> <td>C：休止</td> <td>事業の休止を検討するもの 例：市が関与せずとも市民又は民間主体で事業目的を達成できる見込みがあるもの。事業目的を一定程度達成しており、毎年度実施する必要性がないもの。事業効果が薄く、休止した場合の影響を検証してよいもの</td> </tr> <tr> <td>D：廃止</td> <td>事業の廃止を検討するもの 例：事業終期が到来したもの。他事業と統合（一方は見直し）できるもの。事業目的の達成又は事業目的の達成が困難なもの。事業効果が見込めないもの</td> </tr> </table>	A：現状維持	事業の内容に問題はなく、維持していくもの	B：見直し（拡充・縮小）	事業内容（事業費・対象・範囲・手段等）を拡充又は縮小していくもの 例：市民ニーズの高まりにより拡充するもの。事業効果が薄く、効果に見合った事業規模に縮小するもの。民間委託や補助金化により業務を軽減できるもの。毎年度開催しているイベント・行事のうち隔年開催などにできるもの	C：休止	事業の休止を検討するもの 例：市が関与せずとも市民又は民間主体で事業目的を達成できる見込みがあるもの。事業目的を一定程度達成しており、毎年度実施する必要性がないもの。事業効果が薄く、休止した場合の影響を検証してよいもの	D：廃止	事業の廃止を検討するもの 例：事業終期が到来したもの。他事業と統合（一方は見直し）できるもの。事業目的の達成又は事業目的の達成が困難なもの。事業効果が見込めないもの
	A：現状維持	事業の内容に問題はなく、維持していくもの							
	B：見直し（拡充・縮小）	事業内容（事業費・対象・範囲・手段等）を拡充又は縮小していくもの 例：市民ニーズの高まりにより拡充するもの。事業効果が薄く、効果に見合った事業規模に縮小するもの。民間委託や補助金化により業務を軽減できるもの。毎年度開催しているイベント・行事のうち隔年開催などにできるもの							
	C：休止	事業の休止を検討するもの 例：市が関与せずとも市民又は民間主体で事業目的を達成できる見込みがあるもの。事業目的を一定程度達成しており、毎年度実施する必要性がないもの。事業効果が薄く、休止した場合の影響を検証してよいもの							
D：廃止	事業の廃止を検討するもの 例：事業終期が到来したもの。他事業と統合（一方は見直し）できるもの。事業目的の達成又は事業目的の達成が困難なもの。事業効果が見込めないもの								
④発表（10分）	各委員の外部評価シートを回収し、事務局から発表します。								

(2) 質疑・議論のポイント

内部評価シートの記載内容から読み取れない事項及び疑問に思った事項並びに外部評価シートの評価ポイントに記載した事項について、質疑・議論していただくと良いと思います。

(参考) 説得力のある評価とは

説得力のある評価は、客観的な事実（評価の根拠）に基づき、明確な評価が行われ、評価の結果、今後解決すべき課題が明らかにされている評価です。



平成29年度外部評価シート

委員名 _____

事業名【 _____ 】 担当課【 _____ 】

【評価ポイント】 ※印は、内部評価シートの参照箇所

	項目	自由記載欄
①	事業の妥当性 事業目的（対象と意図）が、市民のニーズに合致しているか。不公平感がなく、公平、公正か。 ※1 基本情報、2 事務事業の概要、3 コスト	
②	事業の有効性 事業目的どおりの成果が出ているか。事業目的を達成するための手段は、適正か。 ※2 事務事業の概要、3 コスト、4 自己評価	
③	事業の主体（事業の担い手） 市ではなく、国・県・民間等他の実施主体がやるべき事業ではないか。市民等との役割分担ができないか。 ※2 事務事業の概要、3 コスト、4 自己評価	
④	事業の効率性 成果を下げずにコスト削減できないか。受益者負担の適正化又は自主財源を確保する方法がないか。 ※3 コスト、4 自己評価	
⑤	その他	

評価（A～Dのいずれか1つにレ点を付し、理由等を記載してください。）

<input type="checkbox"/> A：現状維持 <input type="checkbox"/> B：見直し（拡充・縮小） <input type="checkbox"/> C：休止 <input type="checkbox"/> D：廃止
（評価の理由のほか、意見、改善方法の提案、今後目指すべき方向性などを記載）